

注入補修用・充填接着用硬質形 高粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-100



JIS A 6024
 建築補修用及び
 建築補強用エポキシ樹脂
 認証番号 CE0619001

エバーボンド EP-100 は、注入・充填接着用に開発したグリース状の常温硬化型エポキシ樹脂系接着剤でグリース状でありながら混合性・注入性に優れ、コンクリート構造物のひび割れ、モルタルやタイルの浮き等の充填接着に適しています。大きい隙間の充填にもダレがない為、最適です。防錆材入りの為、高粘度形の防錆用途としても使用できます。また、タイル直張りの浮き部に適した注入用エポキシ樹脂です。



モルタルと躯体間の浮き部注入



外壁タイル直張りの浮き部注入



ひび割れ注入(橋台)



ひび割れ注入(建築外壁)

性状

季別	エバーボンド EP-100M		エバーボンド EP-100W	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	アミン混合物・防錆材	エポキシ樹脂	アミン混合物・防錆材
外観	乳白色グリース状	淡褐色グリース状	乳白色グリース状	淡褐色グリース状
混合比	主剤：硬化剤＝2：1 (重量比)		主剤：硬化剤＝2：1 (重量比)	
可使時間	約 130 分 (15℃ : 300g)		約 180 分 (5℃ : 300g)	
	約 80 分 (20℃ : 300g)		約 160 分 (10℃ : 300g)	
	約 50 分 (25℃ : 300g)		約 90 分 (15℃ : 300g)	
	約 30 分 (30℃ : 300g)		約 60 分 (20℃ : 300g)	
混合比重	1.10 ± 0.1g/cm ³		1.10 ± 0.1g/cm ³	

※可使時間については、測定値で規格値ではありません。

エバーボンド EP-100 の特長

- 防錆機能を付与した高粘度形エポキシ樹脂です。
- グリース状で混合性・注入性がよく、ヘラ切れにも優れています。
- 優れた揺変性を有していますので、充填後タレやひび割れからの流出はありません。
- 接着力が強く、ひび割れや浮きへ充填することにより、構造物を一体化します。
- 硬化時や経時による収縮が殆どなく、充填後のひび割れ、肌分かれなどを起こしません。

エバーボンド EP-100 の用途

- タイル直張り(タイル張り付けモルタルと躯体間の浮き部) 浮き部の注入接着材
- モルタル・タイルの浮き部の注入接着
- コンクリート構造物のひび割れや隙間の注入・充填接着
- アンカーボルトの定着材
- 鉄筋等の防錆材用途

建築・土木用 硬質形高粘度形注入エポキシ樹脂

※防錆材入り（特許出願中）・湿潤面对応型エポキシ樹脂（JIS A 6024:湿潤接着性による。）

物性データ《建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂》 JIS A 6024:2015 注入エポキシ樹脂（硬質）の品質に基づく試験

JIS A 6024:2015 品質項目		エバーボンド EP-100M		エバーボンド EP-100W		
試験項目	試験条件	試験結果	JIS 規格値	試験結果	JIS 規格値	
スランプ A 法 (mm)	低温条件 A 15 ± 2℃	—	—	0	5 以下	
	高温条件 A 30 ± 2℃	0	5 以下	—	—	
接着強さ A 法 (MPa)	標準条件 B 23 ± 2℃	9.8	6.0 以上	8.8	6.0 以上	
	低温条件 B 5 ± 1℃	—	—	9.6	3.0 以上	
	湿潤条件	9.6	3.0 以上	7.3	3.0 以上	
	乾湿繰返し条件	6.8	3.0 以上	7.7	3.0 以上	
引張特性 A 法	引張強さ (MPa)	標準条件 B 23 ± 2℃	44.6	15.0 以上	44.6	15.0 以上
	破断時伸び (%)	標準条件 B 23 ± 2℃	3	10 以下	2	10 以下
圧縮強さ A 法 (MPa)	標準条件 B 23 ± 2℃	68.2	50.0 以上	70.0	50.0 以上	
硬化収縮率 (%)	標準条件 B 23 ± 2℃	0	3 以下	0	3 以下	
加熱減量 A 法	質量変化率 (%)	高温条件 B 110 ± 3℃	1	5 以下	1	5 以下
	体積変化率 (%)	高温条件 B 110 ± 3℃	1	5 以下	0	5 以下

防錆データ 東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」及び「建築改修工事監理指針」(案)

「鉄筋防錆材の性能照査項目」・監理指針 (案)		エバーボンド EP-100		
要求性能	試験項目	試験結果	基準値	
防錆性	防錆性試験	処理部	96%	防錆率 50% 以上
		未処理部	26%	防錆率 -10% 以上
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ	14.5N/mm ²	7.8N/mm ² 以上	
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性	塗膜に異常を認めない	塗膜に異常を認められないこと	

上記測定値は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事管理指針」鉄筋コンクリート用防錆材の品質規格(案)と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」の試験項目内容について公的試験機関で測定した結果です。

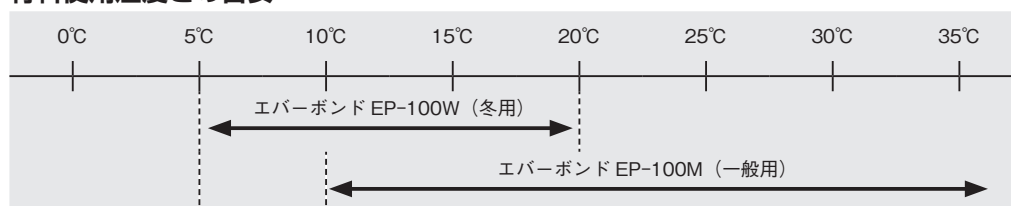
鉄筋コンクリート用防錆性 鋼棒 梱包容量 左 未処理部 右 処理部



3kgセット(主剤:2kg、硬化剤:1kg) × 4セット/ケース	JIS A 6024 (区分記号) EP-100M (I-H-R) EP-100W (I-H-W)
---	---



材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたすものでもありません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号
TEL.03-5381-1555 FAX.03-5381-1566

東京支店 / TEL.03-5381-0231
大阪支店 / TEL.06-6292-0511
名古屋支店 / TEL.052-735-3991
横浜支店 / TEL.045-290-9751
札幌営業所 / TEL.011-804-8050
仙台営業所 / TEL.022-207-5010
新潟営業所 / TEL.025-365-3010

FAX.03-5381-0232
FAX.06-6292-0522
FAX.052-735-3992
FAX.045-290-9755
FAX.011-804-8061
FAX.022-207-5011
FAX.025-365-3011

金沢営業所 / TEL.076-290-7408 FAX.076-290-7410
さいたま営業所 / TEL.048-646-4870 FAX.048-646-4871
千葉営業所 / TEL.043-380-7981 FAX.043-380-7982
多摩営業所 / TEL.042-402-5200 FAX.042-402-5201
広島営業所 / TEL.082-568-6085 FAX.082-262-7212
福岡営業所 / TEL.092-432-9220 FAX.092-432-9221